

主催：下町ウェルカムフラワー for 2020 実行委員会



下町ウェルカムフラワー

## 未来に向けて住みたくなる下町の創出を

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、全国での文化プログラムの展開が進められており、新潟市は、地方都市においては先進的取り組みを進めている。オリンピック・パラリンピック競技大会では、会場を飾るウェルカムフラワー、メダリストに渡すビクトリーブーケが必要であり、花卉栽培が盛んな新潟市にとって絶好のPRの場となることが期待される。下町では、これまでチューリップの球根を植え、町全体で賑わいを創出する「ウェルカムフラワー運動」を継続的に実施しており、その取り組みを2020年に向けたPRと文化プログラムに結び付けていくことが可能である。花を栽培、配置することで、水と土の芸術祭2018、新潟開港150周年、東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの市民の認知と機運を高める。そして、障がい者、高齢者の地域活動への参加を促進する。

これらを背景として、今回、より多くの住民の参加を促進することにより、従来の「ウェルカムフラワー運動」の拡大を図り、未来に向けて住みたくなる下町の創出を図る取り組みを進めた。当初の計画では、球根を配布し、開花、地域の街路での配置を計画していたが、異常気象による猛暑のため、花卉業者と相談し、開花した花を一定気温を下回った9月中旬に植え、配置することとなった。

これらによって、目標であった水と土の芸術祭2018、新潟開港150周年、東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの市民の認知と機運を高めることにつながった。引き続き、下町地域でのフラワー運動やイベント等を通じて、機運の醸成を図っていききたい。水と土の芸術祭の来訪者と地域住民の間で、花をきっかけとして会話が生まれるなど、下町エリアの交流の創出に貢献した。

●9月15日(土)～10月8日(月・祝) ウェルカムフラワー  
(下町地域(早川堀通、西湊町、早川町、赤坂町、本町通、下大川前通等))